

これからの私たちのための表現の自由をかんがえませんか！

日韓の間で考える“表現の不自由”と民主主義 —検閲、規制、自粛と抵抗—

とき：2018年2月16日（金）18時～19時半

ところ：とよなか国際交流センター（会議室2AB）

（豊中市玉井町1-1-1-601 阪急豊中駅前「エトレとよなか」6階）

韓国と日本の表現活動取材し、支援している岡本有佳さんをお招きし、世界的にも注目される韓国の「ろうそく集会」についてお話を伺います。

朴槿恵前大統領の罷免まで2016年10月28日から134日間、土曜ごとに開かれた「ろうそく集会」に世代を超えた人たちの力があられだけ結集できたのは何故なのか？

ブラックリスト事態に抵抗した韓国の演劇人たちの営みをたどり、表現の自由と民主主義について考えてみます。

朴槿恵政権下では近年さまざまな検閲事件が起きてきましたが、昨年10月、韓国政府を批判する「文化芸術界ブラックリスト」の存在がメディアによって明らかになりました。

演劇人は11月より光化門前のテント村で24時間ろう城に参加、2017年1月、ついに「奪われた劇場をここに建てる」と、光化門広場に「光化門劇場 ブラックテント」を建てました。朴槿恵前大統領弾劾、新政権になった現在もその闘いは続いています。

韓国の抵抗運動を知ることは、日本で生きる私たちが表現の自由と民主主義を考えるうえで意味のあることだと思います。参加者のみなさんと一緒に、これからの私たちの表現の可能性についても話し合えればと思います。多数ご参加ください。

参加費：500円（資料代）

定員：50人（要申込、先着順）

主催：公益財団法人とよなか国際交流協会
「在日」女性の集まり「ミリネ」

申込・問合せ先：とよなか国際交流協会

電話 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

E-mail atoms@a.zaq.jp

URL <http://www.a-atoms.info/>



講師紹介：岡本有佳（おかもと ゆか）さん

編集者。文化企画。風工房主宰。Fight for Justice 日本軍「慰安婦」問題 web サイト運営委員。表現の不自由展共同代表。東アジアの YASUKUNISM 展共同代表。ドキュメンタリー映画『60万回のトライ』共同プロデューサー。共編著に『増補改訂版〈平和の少女像〉、なぜ座り続けるのか』（世織書房）、『東アジアのヤスクニズム——洪成潭〈靖国の迷妄〉』（唯学書房）『《自粛社会》をのりこえる』（岩波ブックレット）、『誰が〈表現の自由〉を殺すのか——ニコンサロン「慰安婦」写真展中止事件裁判の記録』（御茶の水書房）、近刊『「慰安婦」問題と未来への責任——日韓「合意」に抗して』（大月書店）など。

